

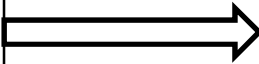
#### 4. 具体的な改革の取組み

##### (3) 組織活力の向上 ① 自律的な改革を支える体制の構築 (i) マンパワーを最大限発揮できる組織人員体制の構築

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定(工程)	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
将来を見据えた組織人員体制の検討 (本文P62)	将来の職員の年齢構成や若手職員のマネジメント能力の向上といった観点から、府の組織体制のあり方を検討します。また、引き続き、効率化に努めつつ、危機管理事象への適切な対応や内部統制の充実、知識・技術やノウハウの伝承といった新たな課題にも適切に対応できる組織人員体制の整備に向けた取組みを進めます。	総務部 人事局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の職員の年齢構成等を踏まえた組織体制のあり方検討</li> <li>・新たな課題に適切に対応できる人員体制の検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討結果を踏まえた取組みの推進</li> </ul>	人員体制の検討状況等も踏まえ、引き続きあり方検討を進める
自律型「人財」の採用 (本文P62)	平成23年度の採用試験から取り組んでいる採用戦略に基づく職員の採用状況について、検証を行い、必要に応じて改善します。	総務部 人事局 人事委員会 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より優秀な人材を獲得できる採用試験の実施</li> <li>⇒より優秀な人材を確保できるよう、採用試験について、試験内容の一部見直し等を実施(例:SPI3(総合能力試験)の導入など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施状況の検証(必要に応じ、随時見直し)</li> </ul>		
再任用職員の活躍の場づくり (本文P62)	再任用職員のもつ知識・技術やノウハウを活用できるような仕組みづくりについて検討します。	総務部 人事局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再任用職員の知識・経験の更なる活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再任用職員の管理職への登用を検討</li> <li>⇒管理職ポストへの「再任用職員採用選考」を実施(平成29年度当初配置)</li> </ul>		

4. 具体的な改革の取組み

(3) 組織活力の向上 ①自律的な改革を支える体制の構築 (i) マンパワーを最大限発揮できる組織人員体制の構築

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定(工程)	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
職員が働きやすい環境づくり (本文P62)	職員が働きやすい環境づくりとして、柔軟な働き方(時差勤務の弾力化など)、子育て中職員へのサポート、ワークライフバランスの推進などを検討します。	総務部 人事局 IT推進課  財務部 行政改革課	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員が働きやすい環境づくりとして、柔軟な働き方(時差出勤など)、子育て中職員へのサポート、ワークライフバランスの推進及びこれらを支援するICTの活用等のあり方を検討</li> <li>⇒子育て支援の観点から、放課後児童クラブ等の送迎を行う職員に係る早出遅出勤務対象について、小学校3年生までを6年生までに拡大</li> </ul>	<p>【大阪府庁版「働き方改革」の策定・推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒イクボス運動 <ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟な勤務時間の設定</li> <li>時間外勤務の見える化</li> <li>グループ内での定時退庁の取組</li> <li>過重労働ゼロに向けた改善措置</li> </ul> </li> </ul> <p>【育児介護等の支援策の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒男性の育児参加休暇の取得期間を出産の日後8週間から16週間に拡大</li> <li>早出遅出勤務について、保育所等への送迎要件を撤廃し、30分早出の勤務パターンを導入</li> <li>育児休業等の子の範囲の拡大(特別養子縁組の監護期間中の子など)</li> <li>各々の被介護人につき、連続する3年間の期間内に1日につき2時間を限度に勤務しないことができる介護時間制度の導入</li> </ul>	 <p>【大阪府庁版「働き方改革」の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒タブレット端末機の本格導入</li> <li>サテライトオフィス試行実施</li> <li>時間外勤務実績に着目した人員配置</li> </ul>	

4. 具体的な改革の取組み

(3) 組織活力の向上 ①自律的な改革を支える体制の構築 (ii) 能力・モチベーションの向上

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定（工程）	備考	
			平成27年度	平成28年度	平成29年度		
人材の育成 (本文P63)	実務経験を通じた能力開発(OJT)を中心に行うとともに、現場主義の人事配置等（人的マネジメント）に加え、行政課題の高度化、複雑化に対応するため、引き続き職員の専門的知識や経験を最大限活用した人事ローテーション、キャリアアップを行います。	総務部 人事局	・適材適所の人事配置や研修等を通じた能力開発により、幅広い視野と専門領域を併せ持った職員を育成			→	
			・自律的なキャリア形成の支援策拡充（キャリアクリエイト制度の導入）				→
			⇒平成26年度にキャリアクリエイト制度を導入し、平成27年度当初定期人事異動から同制度による人事配置を実施	・キャリア形成の支援策実施 (必要に応じ、随時見直し)			

#### 4. 具体的な改革の取組み

##### (3) 組織活力の向上 ①自律的な改革を支える体制の構築 (ii) 能力・モチベーションの向上

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定(工程)	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
組織横断ネットワーク (本文P63)	部局長マネジメントによる部局間交流、職種間交流(勉強会、プレゼンテーション機会等)を通じ、能力の研鑽と幅広い視点・視野からの企画力、判断力等を高めます。	全部局	・部局長マネジメントによる部局間交流、勉強会やプレゼンテーションの機会などを通じ、能力の研鑽、幅広い視点・視野からの企画力等を養成			
実効ある提案制度 (本文P63)	職員提案による業務効率化の取組み等を組織的に共有し、業務へ反映する取組みとして、フォローアップや提案の実現を支援し、表彰等のインセンティブを導入することにより活性化を図ります。	財務部 行政改革課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員提案の業務へ反映する取組みとして、フォローアップによる提案実現の支援、表彰等インセンティブを実施</li> <li>⇒・業務改善にかかる提案制度において、期間を定めて集中的に提案を募集し、表彰制度を導入</li> <li>・応募のあった提案内容をWEB上で公表、共有することを通じて、それぞれの職場の業務に反映</li> <li>⇒・職員が直接知事へ提案することができる「知事への職員提案」を実施</li> <li>・提案のあった内容について、その実現の可能性や課題にかかる検証をサポート(提案数35件、検証対象17件)</li> </ul>			

#### 4. 具体的な改革の取組み

##### (3) 組織活力の向上 ①自律的な改革を支える体制の構築 (iii) 知的ストックの活用 (ナレッジマネジメント)

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定 (工程)	備考	
			平成27年度	平成28年度	平成29年度		
知的ストックの活用 (ナレッジマネジメント) (本文P64～65)	職員・組織のもつ知識・ノウハウやネットワークを組織全体で共有化し、横断的に活用することにより、能力育成をはじめ、効率的、効果的な業務遂行及び創造性の発揮につなげます。 併せて、チームワークを重視する組織風土へ変革していくことにより、組織全体の強みを束ね、総合力の向上をめざします。	総務部 IT推進課  財務部 行政改革課	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナレッジマネジメントの検討               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「しごとポータルサイト (仮称) 」 (マニュアル・通知など集約サイト) の構築、運用など、知識・ノウハウの承継</li> <li>○ ナレッジデータベース化 (アーカイブ) など庁内共有</li> <li>○ 電子会議などのバーチャルWGの活用</li> <li>○ アドバイザー制度の導入 (ICT環境等により、アドバイスを受ける仕組み)</li> <li>○ 全部局の対外的ネットワークの活用</li> </ul> </li> </ul> ⇒「しごとポータルサイト」の設置、運用、機能追加など(利用者アンケート、デザインのリニューアル、検索機能の追加、投稿(おすすめ)型リンク機能の追加)	⇒「しごとポータルサイト」の運用、機能強化(利用者アンケート、検索範囲の対象拡大)	⇒「しごとポータルサイト」の運用、機能強化(利用者アンケート、検索範囲の対象拡大)	・検討結果を踏まえた取組みの推進	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>全部局の対外的ネットワークの活用取組みのひとつとして、「企業・大学と締結している連携協定一覧」を整理し、庁内共有</li> <li>ナレッジデータベース化、電子会議、アドバイザー制度など、効果的なナレッジマネジメントの手法について、技術、経費・運用方法などを引き続き検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「企業・大学と締結している連携協定一覧」の更新、庁内共有を引き続き実施</li> <li>電子会議の有効性等について検証(試行実施)</li> </ul>			

#### 4. 具体的な改革の取組み

##### (3) 組織活力の向上 ①自律的な改革を支える体制の構築 (iii) 知的ストックの活用 (ナレッジマネジメント)

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定(工程)	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
知的ストックの活用 (ナレッジマネジメント) (本文P64～65)	職員・組織のもつ知識・ノウハウやネットワークを組織全体で共有化し、横断的に活用することにより、能力育成をはじめ、効率的、効果的な業務遂行及び創造性の発揮につなげます。 併せて、チームワークを重視する組織風土へ変革していくことにより、組織全体の強みを束ね、総合力の向上をめざします。	総務部 IT推進課  財務部 行政改革課	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員提案の充実 職員提案のフォローアップによる提案実現の支援、表彰等インセンティブを実施</li> <li>⇒業務改善にかかる提案制度において、期間を定めて集中的に提案を募集し、表彰制度を導入</li> <li>応募のあった提案内容をWEB上で公表、共有することを通じて、それぞれの職場の業務に反映</li> <li>⇒また、職員が直接知事へ提案することができる「知事への職員提案」を実施</li> <li>提案のあった内容について、その実現の可能性や課題にかかる検証をサポート(提案数35件、検証対象17件)</li> </ul>	⇒平成27年度の実施結果を踏まえ、効率化の観点から、提案制度の実施方法を一部見直し(6月末) (通年受付。当該表彰制度の対象外)		

#### 4. 具体的な改革の取組み

##### (3) 組織活力の向上 ②業務改革の推進 (i) ICTの活用

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定（工程）	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
オープンデータの提供 （本文P66）	府が保有するデータを二次的利用が可能な形で公開します。その取組みとして、利用者にわかりやすく提供するため、各部局の有するデータを整理して掲載するポータルサイトを開設し、府民が幅広く利用できるようにしました。今後、国などの広域における取組みへの参画とともに、データの充実等を図っていきます。	政策企画部 企画室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデータポータルサイトの運用</li> <li>⇒ポータルサイトに掲載されたデータについて、随時更新を実施</li> </ul>	⇒ポータルサイトへのデータ掲載を順次拡充	→	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・国その他の広域における取組みに参画しながら、同サイトの改訂・拡充</li> <li>⇒同サイトについてデータ量の充実、利用可能性の向上を図るべく検討</li> </ul>	⇒同サイトを民間が運営する行政オープンデータサイトにリンク		
ビッグデータの活用 （本文P67）	国における議論の方向を注視しつつ、データ収集やリンケージ等活用に必要な仕組みや費用対効果、集約されたデータの活用可能性など、府として取り組むべき方向について検討を進めていきます。	政策企画部 企画室 戦略事業室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビッグデータの活用事例について、費用対効果も含め研究</li> <li>⇒ビッグデータの活用可能性について費用対効果、個人情報保護にも留意しつつ研究</li> </ul>	⇒民間企業等と意見交換を実施	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者が保有するビッグデータを活用した具体的な行政課題の解決を事業部局に提案</li> </ul>

4. 具体的な改革の取組み

(3) 組織活力の向上 ②業務改革の推進 (i) ICTの活用

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定(工程)	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
マイナンバーの活用 (本文P68)	平成28年からのマイナンバー制度導入に向け必要なシステム基盤の整備を行うとともに、社会保障・税・災害対策分野でのマイナンバーの活用について、省令等や国の制度設計を踏まえて検討します。	総務部 IT推進課  財務部 行政改革課  府民文化部 府政情報室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーの活用について、国の制度設計を踏まえて検討</li> <li>⇒・高等学校等への就学に要する経費の支弁に関する事務など、独自利用を行う事務を規定したマイナンバー利活用条例を平成28年1月に施行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒・独自利用を行う事務の追加を検討</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバー制度に対応した庁内システム等の整備・情報連携の調整</li> <li>⇒・府庁内での管理番号と個人番号を紐付ける大阪府団体内統合宛名システムを構築(平成28年3月)</li> <li>・マイナンバー制度導入に向けて、個人番号利用事務を専用ネットワーク内で行う等のセキュリティ対策を検討</li> <li>・特定個人情報(マイナンバーを含む個人情報)の適正な取扱いのための規定整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒・宛名システムの構築を完了。庁内の関連システムや府内市町村、他県との連携テストを実施</li> <li>・個人番号利用事務専用ネットワーク構築などのセキュリティ対策を実施</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーの利用開始(平成28年1月)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーを活用した情報連携を開始(平成29年7月)</li> </ul>



4. 具体的な改革の取組み

(3) 組織活力の向上 ②業務改革の推進 (i) ICTの活用

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定(工程)	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
ICT活用による業務改革(改善)の推進 (本文P69~71)	リモートアクセス機能の活用、情報の共有化(共有フォルダの有効活用)、無線LANの導入、タブレット端末の導入検討、庁内コミュニケーションツールの導入検討、業務システムのマネジメント、ICTに対応した人材育成などに取り組みます。	総務部 IT推進課  財務部 行政改革課	<b>【リモートアクセス機能の活用】</b> ・モバイル端末と共にリモートアクセス機能の利用ルール等を整理し、利用拡大を図る  ⇒・モバイル端末の使いやすさ向上のため、設定変更を実施(10月)	⇒・PRに努め、モバイル端末機の利用実績は昨年度より大幅に増加	⇒・タブレット端末の本格導入に伴い、モバイル端末との適切な棲み分けを検討整理	
			<b>【無線LANの導入・検討】</b> ・耐震工事に合わせて大手前庁舎の整備を行う  ⇒・平成27年度整備箇所について、当初計画どおり実施済み  ・その他の庁舎については、整備を検討し、可能なものから順次導入  ⇒・出先機関のネットワーク再構築時の検討材料とするため、導入するとした場合に必要となる概算費用を算出(9月)	⇒・当初計画どおり整備完了	⇒・出先機関を含む庁内ネットワーク再構築の設計予算を計上	

4. 具体的な改革の取組み

(3) 組織活力の向上 ②業務改革の推進 (i) ICTの活用

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定（工程）	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
ICT活用による業務改革（改善）の推進 （本文P69～71）	リモートアクセス機能の活用、情報の共有化（共有フォルダの有効活用）、無線LANの導入、タブレット端末の導入検討、庁内コミュニケーションツールの導入検討、業務システムのマネジメント、ICTに対応した人材育成などに取り組みます。	総務部 IT推進課  財務部 行政改革課	【タブレット端末】 ・活用効果が見込める業務について先行して導入 ⇒・効果検証を実施 （ ・14所属15台で試行開始（8月） ・導入所属に対する効果検証を実施（11月、3月） ）	⇒・一部導入所属を変更し効果検証を継続 ・試行で一定の効果が見られた	→→→→→ ・平成29年8月から本格導入（500台予定）のための予算を計上	
			【庁内コミュニケーションツールの利用検討】 ・庁内コミュニケーションツール（インスタントメッセージ、ビデオ通話等）の利用手法等について検討し、利用を促進 ⇒・利用を促進するため、活用サイトを開設（8月） （ 利用方法、活用事例の紹介、FAQなどを掲載 ）		→→→→→	

4. 具体的な改革の取組み

(3) 組織活力の向上 ②業務改革の推進 (i) ICTの活用

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定（工程）	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
ICT活用による業務改革（改善）の推進 （本文P69～71）	リモートアクセス機能の活用、情報の共有化（共有フォルダの有効活用）、無線LANの導入、タブレット端末の導入検討、庁内コミュニケーションツールの導入検討、業務システムのマネジメント、ICTに対応した人材育成などに取組みます。	総務部 IT推進課 財務部 行政改革課	<p>【システムマネジメント・人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各部局が有する情報システムのライフサイクル（企画、予算、調達、開発・構築、運用・保守等）に応じた助言・相談を行うことにより、最新の技術動向等に配慮しつつシステムの最適化に努める。併せて、助言・相談を通じて各部局のシステム担当職員にノウハウを伝えるなど、OJT、研修による人材育成を図る</li> </ul> <p>⇒ICTのより適切な利用をめざし、現状システムの把握、予算や発注の最適化に努める取組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IT人材の育成について検討</li> </ul>	<p>⇒庁内情報システムの調査・ヒアリング、並びに予算要求及び調達仕様書の内容の確認を実施し、システムマネジメントの取組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ITサポートページをリニューアルし、ICTの活用にあ資する情報提供機能を強化</li> <li>情報セキュリティ研修の充実や標的型メール対応訓練を実施し、職員のインシデント対応能力を向上</li> </ul>	<p>⇒庁内システムのサーバを集約統合する共通プラットフォームの構築について設計及び構築管理予算を計上</p>	

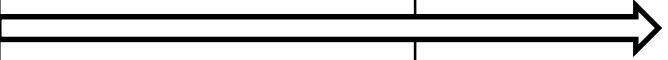
4. 具体的な改革の取組み

(3) 組織活力の向上 ②業務改革の推進 (ii) 府民との対話・利便性の向上

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定（工程）	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
府政広報の推進 (本文P72)	府の「戦略広報」の一環として、府民のみなさんの府政への親しみやすさと、参加意欲を高めるための有効な広報ツールとして、キャラクターを活用します。そのため、府としてのメインキャラクター（もずやん）の設定や効果的な活用方を盛り込んだ「大阪府キャラクター広報方針」を策定し、戦略的な広報を行います。	府民文化部 府政情報室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大阪府キャラクター広報方針」に基づき、府の主要な広報媒体・イベント・施策において、メインキャラクター「もずやん」を活用</li> <li>⇒ イベント等出演：398回</li> <li>・メディア露出：約100件</li> <li>・ツイッターフォロワー数：10,054 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ イベント等出演：約380回</li> <li>・メディア露出：約100件</li> <li>・ツイッターフォロワー数：12,416 (12月末時点)</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「もずやん」を軸とした民間企業等との連携による広報を展開する仕組みを検討、構築</li> <li>⇒ エースコック株式会社の「産経新聞大阪ラーメン」のパッケージに使用。なお、エースコックは、府政広報に協力する「もずとも」第1号として登録。 ※もずとも登録…7</li> <li>・(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の協力を得て、無償で「もずやん」の衣装を作成してもらい「おしゃれもずやんプロジェクト」を実施。</li> <li>・りそな銀行キャラクター「りそにゃ」と『大阪「超」盛り上げ共同声明』を締結し、包括連携協定をPR。</li> <li>・米国総領事からの指名で、米国独立記念日イベントに特別ゲストとして招聘。国際的友好関係のPRに貢献。</li> <li>・もずやんのテーマソング「タツカカもずやん」が完成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「もずやん」を軸とした広報展開</li> <li>⇒ 府政広報に協力する「もずとも」とイラストの使用、イベントへの出演等について協定を締結。</li> <li>《実績》</li> <li>・もずとも登録：9</li> <li>・もずとも協定：4</li> <li>・ヤマト運輸と府が包括連携協定を締結。府政PRの一環として、もずやんがデザインされたご当地宅急便BOX、ご当地送り状を作成。</li> <li>・日本コロムビア(株)が販売するDVD付CD「みんないっしょに！ご当地キャラクターたいそう」に「タツカカもずやん」を収録しPR。</li> </ul>		

4. 具体的な改革の取組み

(3) 組織活力の向上 ②業務改革の推進 (ii) 府民との対話・利便性の向上

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定（工程）	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
府政広報の推進 (本文P72)	府の「戦略広報」の一環として、府民のみなさんの府政への親しみやすさと、参加意欲を高めるための有効な広報ツールとして、キャラクターを活用します。 そのため、府としてのメインキャラクター（もずやん）の設定や効果的な活用方策を盛り込んだ「大阪府キャラクター広報方針」を策定し、戦略的な広報を行います。	府民文化部 府政情報室	・「もずやん」を軸とした民間企業等との連携による広報を展開する仕組みを検討、構築		 <ul style="list-style-type: none"> <li>・『羽ばたけ!!もずやん』プロジェクトを展開。 (平成29年1月～)</li> <li>【プロジェクト目標】</li> <li>・府民の認知度 75%</li> <li>・ツイート閲覧数 200万件/月平均</li> <li>・イベント出演回数 400回/年</li> <li>・名刺配付数 2万枚/年</li> <li>・メディア露出 200件/年</li> <li>【プロジェクトの柱】</li> <li>&lt; ネットでの話題喚起 &gt;</li> <li>&lt; 露出拡大 &gt;</li> <li>・干支企画(年賀状、バードサミットなど)</li> <li>&lt; イラスト無償使用 &gt;</li> <li>・もずやんを使用した商品やサービス拡大</li> </ul>	

4. 具体的な改革の取組み

(3) 組織活力の向上 ②業務改革の推進 (ii) 府民との対話・利便性の向上

項目名	取組内容	担当部局・室	取組み状況		今後の予定(工程)	備考
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
ネットワークサービスの充実 (本文P72)	既存Webサイトのリニューアル及び民間事業者のサービスの活用などにより、府民のみならずスマートフォンやタブレット端末を介して府政情報を取得し、府政へ参加できるように、ネットワークサービスの充実を図ります。	府民文化部 府政情報室	<ul style="list-style-type: none"> <li>Webサイトの改善について検討・実施準備 〔Web関連の技術調査 他府県等の先進事例調査〕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>Webサイトのリニューアル</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒セキュリティ対策及び検査、並びにアクセシビリティ対応を実施。Webサイト公開に係る機能などについて調査を実施</li> <li>・他府県等の、スマートフォンサイトの導入、スマートフォン向けアプリの導入及び、リニューアルの考え方などの情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒セキュリティ対策及び検査、並びにアクセシビリティ対応を継続して実施</li> <li>・各所属が必要と判断したページをスマートフォン版で作成できる仕組みを構築</li> </ul>		
電子申請手続の拡充 (本文P73)	申請実績等を考慮しながら、申請手続について、様式の見直しや手続の簡素化し、申請できる手続を増やすことにより、府民サービスの向上を図ります。	財務部 行政改革課  府民文化部 府政情報室	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者サービスの動向を調査、検討 検討結果を踏まえ、可能なものは実施</li> </ul>			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒府Webサイトのクラウド化による外部サービスの利用について検討。費用、機能の面から、府Webサイトについては現行の構成のとおり、自前の機器類で構成する方針</li> <li>・SNS関連では、現行のfacebook、Twitter、ブログを引き続き活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒利便性、セキュリティ面などに配慮し、府Webサイトの次期機器構成を設計</li> <li>・現行のfacebook、Twitter、ブログを引き続き活用</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>電子申請化の調査を踏まえ、申請実績等を考慮しながら、可能なものを電子化</li> </ul>			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒「産業廃棄物処理業の変更届(車両に限る)」を都道府県初で受付開始。その他、添付資料や電子収納の必要な申込みなどの電子化を新たに実施</li> <li>・教員チャレンジテストの申込では、手続き方法の簡素化の観点から申込み手順の見直しを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒イベントや講座の申込み、添付資料や電子収納が必要な各種申請手続、採用試験申込などの電子化を継続して実施</li> </ul>		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;参考:申込者数&gt; H26: 4,292件、H27年度: 5,764件</li> </ul>			